



家の中で楽しく過ごそう

先日は、外出自粛の中にもかかわらず課題を受け取りに来校していただきまして、ありがとうございました。翌日から早速、学習計画に沿って課題に取り組んだり、アサガオの種を播いたりしている様子を聞き、担任一同、うれしくなりました。

お渡しした教材の「けん玉」と「お手玉」の練習にも、楽しそうに取り組んでくれているようです。例年ですと、12月と1月の生活科「かぞくにこにこだいさくせん」で取り組むのですが、「けん玉」や「お手玉」などの「昔遊び」には子供たちの発達にとっても良いことがたくさん含まれているので、ご家庭での学習に取り入れてみました。室内で簡単にできることをいくつかご紹介します。今回は2人以上での遊びですので、ご家族で楽しんでみてください。



けん玉は、力加減の調節が大事。
目と手の協調性が高まります。
また、膝の動きを使って玉の動きをコントロールするので、全身運動になります。

お手玉も、目と手の協調性を高めることができる遊びです。歌いながらやると、リズム感も高まりますよ。



しんぶんじゃんけんあそび

<やりかた>

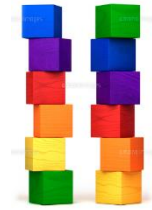
- 1、しんぶんしをひろげてたつ。
- 2、じゃんけんをして、まけたひとはしんぶんしをはんぶんにおる。
- 3、2をくりかえす。
- 4、かたあしでたてなくなったら、まけ。

☆バランスを取る練習になります。

〇〇つみあそび

<やりかた>

つみきやあきばこをつみあげていく。



☆どのように積めば崩れないか予想したり、力を加減して置いたりする練習になります。片手で積んだり、何人かで順番に積んだりなどの工夫をすることができます。

手合わせあそび

<やりかた>

おんがくのきょうかしよ64・65ぺえじの「おちゃらか ほしい」をやってみましょう。

☆相手と合わせることを意識したり、触れ合いを楽しんだりすることができる遊びです。はじめのうちはポーズを間違えることがあっても、気にせずに行きましょう。少しずつ上手になっていく喜びや手応えを味わえると嬉しいです。速さを変えてやってみましょう。「ずいずいずっころばし」や「アルプス一万尺」など、保育園や幼稚園でやった遊びやお家の方が子どもの頃にやった遊びにも取り組んでみてくださいね。

☆力加減の調節が上手にできる子は、文字を書いたり、はさみを使ったりすることも上手になります。また、目と手の協調性が高まると、黒板に書いてある文字を写すことが得意になりますよ。
参考図書「学童期の感覚統合遊び」クリエイツかもかわ